

エリアとくらし

第19号 2015年3月

発行：社会福祉法人

時津町手をつなぐ育成会

西彼杵郡時津町西時津郷 1156

Tel：095-882-7585



年女が語る
「今年の抱負」とは？



やった～！
優勝だ～！



今年一年、
良い年になりますよう…



2015年新春は、初めての試みである「新年親子のつとい」で賑やかに幕を開けました。

理事長挨拶の後は、年男年女、新成人の紹介。皆様今年の抱負を少し緊張しながら語って下さいました。

そして1部のメインイベント、カラオケ大会に突入！会員、利用者、保護者、職員からなる選抜チームでパフォーマンスを競いました。見事優勝をさらったのは山科次長率いる「ハゲ&アスカ」チーム！参加者には豪華景品がプレゼントされました。

2部は、アルコールやおつまみを頂きながらゆったりと会話を楽しんだり、カラオケで盛り上がりたりと、リラックスした雰囲気の中で交流を楽しまれていました。

御協力頂いた皆様、どうも有難うございました。(池田)

地域でお役立ち！グリーン＆グリーン出動！！

2014年12月 神崎花園環境整備作業

時津町の神崎花園ってご存知でしょうか？エリアより20分ほど歩いた7工区に隣接した公園です。

昨年の12月に時津町より公園内整備作業の仕事をいただきました。

内容は公園の斜面にある竹林の竹が伐採・放置され、乱雑に積み重なっていたため(写真①)その片付け(写真②③)と、園内に10ヶ所ほどある花壇の耕運・肥料まき(写真④)・花の種をまく苗床作りです。

理事長も
お手伝い！



①すごい散らかりようです...



②地道に片づけて



③土が見えてきました

また、花壇の中にある高木の剪定作業と剪定くずの処理(写真⑤)も加わりました。かなり作業量が多く作業の終了期限が2週間後と決められていたため、利用者・職員・ボランティアを含め5人から9人体制で作業に取り組みました。作業を手際よく行い、みんな楽しみながら精一杯、体を動かしていたように思います。



④肥料をまいていきます



⑤こちらも清掃

グリーン＆グリーン事業では時津町から初めての受注でした。

おかげさまで利用者の方々に混じり、理事長をはじめ職員・ボランティアの方々のお力を借り、無事、期限内に作業を完了することができました。

その後、時津町より花壇に「菜の花の種」をまいて欲しいとの協力要請があり、快く引き受けました(写真⑥⑦)。みんなで楽しく種まきを行い、現在すくすくと育っています。開花時期にはぜひともお弁当を持って見学にお越し下さい。(山科)



完了！

⑧のビフォーと
見比べて下さい！



⑥説明を受けて



⑦種をまきます

時津町長与町合同 知的障害者地域をつなぐ推進会議

1月17日（土）長与南交流センター



長崎県手をつなぐ育成会の甲田会長、長与・時津両町長のあいさつの後、研修会テーマⅠ(術)エス・ケイ・フーズ（マクドナルド）の中村こずえさんより、障がい者の就労についての講演会がありました。

障がい者を雇用するまでの経緯や、雇用してからのエピソードを、時には笑いながら、時には涙を浮かべながらお話しされました。

自閉症のスタッフが一度のたくさんの注文を受けてパニックを起こしてしまう時には、周りのスタッフでまず「大丈夫、みんなで回して行くよ」と声を掛け合うことで、落ち着いて仕事に取り組めるようになった…など、就労後も定着できるような職場環境の工夫をされているそうです。

研修会テーマⅡは、商工会の方々を含めた地域の人々に対し、地元で働くご本人のお話でした。

長与町からは平野晋哉さん（岩崎本舗）、時津町からはエリア21の就労移行支援事業を卒業された町田崇紘さん（TSUTAYA）が発表されました。

70名以上の方が集まる中、その日のために作成した文章を朗々と読み上げ、司会者の鋭い切り口からの質問に対し、小気味良い返答をされていました。

お二人とも緊張した面持ちでしたが、仕事の話の他プライベートや将来の話題など、多岐にわたって終始堂々とされている姿は清々しかったです。町田さんも大満足な様子で、「楽しかった」と述べておられました。



最後に甲田会長からは“地域づくりをいかに進めるか”のテーマで、育成会に期待されているものとして「障がい観の確立」「障がいがある人が生きる社会の現状を知ること」「地域づくりと家族支援の見直し」育成会が描く「地域生活支援の仕組みづくり」などのお話がありました。

今回、障がい者の方の働く様子や発表を聞くことで、見えていなかったことがたくさんあることに気付かされました。参加させていただき、ありがとうございました。（岸部武士・希）

11月16日（日）時津海と緑の運動公園 ミニ駅伝大会 出場 町民ロードレース

秋風が少し冷たい晴天のこの日、毎年恒例のミニ駅伝に出場したのは、利用者さんの中から立候補された、加藤さん・谷山さん・平埜さん・池田さん・三岳さん。みなさん、トレーニングに励んでこの日を迎えました。

利用日となったこの日は、エリアの仲間たちも沿道のあちこちで5人をしっかり応援。



みんなでロードレース大会に参加することができました。

区間を走り終えたメンバー、しばらくは口がきけないほどの息の上がりようでしたが、持てる力をすべて出し切って完走し、全？チーム中、16位に入りました。お疲れ様！！

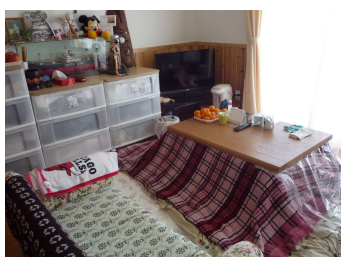
施設見学会

11月20日（木）グループホームおおぐし&つくも

秋の施設見学会に参加しました。参加者 22 名。修学旅行気分でバスに乗り込んだのは私だけだったのでしょうか。向かった先は、西海市手をつなぐ育成会「グループホームおおぐし 1 号・2 号」と琴の海いやしの会「グループホームつくも」の 2 か所。まず、「おおぐし 1 号・2 号」は、大村



おおぐし 1 号(2号はお向かい)



2 室を 1 つにしてご夫婦で



説明や質疑応答に「なるほど」

湾を臨む広々とした敷地に建つ真新しい 2 棟。2 室を 1 つにした部屋が 2 か所あり、老夫婦と姉妹がそれぞれ入居とのこと。今まで見たことがありませんでした。

また、「重度化した場合の指針」を定め、ホーム専属の看護師を配置しているとのこと、先進地であることに感銘を受けました。

一方「つくも」は、山の上にあり、バス通りまでかなりの距離があり利用者の通勤が大変。ときには、帰りが遅くなることもあるらしく、世話人さんが心配することもあるとか！感謝の一言に尽きます。

利用者の成長の陰には、施設の関係者をはじめ多くの方々のお蔭と、感謝の気持ちでいっぱいになりました。（村島）

～ ～ ～ ～ ～ 質疑応答から一部ご紹介します ～ ～ ～ ～ ～

？グループホームとB型事業所利用者が高齢化したら？

健康体なら…現在 65 歳以上で 3 名入居。西海市ではB型事業所利用は本人希望によるので利用可能、状態にあった作業を継続中。

認知症や体が不自由になったら…肺炎によりホーム生活が困難になった方と保護者、関係職員、病院等で協議し最適な方法を検討、リハビリ施設に転居となった例がある。希望次第ではホームでターミナル期支援の可能性もありと考えている。

この他にも多くの質疑応答がありました。（記録あり）次回の見学会もぜひご参加ください。

バス内は修学旅行気分？！



「つくも」は「ドリーム」似

ご紹介が遅れてすみません(>_<) 新入職員さんです

調理場の職員さんとして入って下さった岡恭子（おか きょうこ）さんです。お住まいも長与町岡郷（笑）、スリムなお体に笑顔ハツラツの素敵な方です(*^_^*)

～岡さんより～

昨年の 6 月より厨房でお世話になっています。最近、仕事にもずいぶん慣れてきたところです。これからも元気に頑張りますのでよろしくお願い致します。



おめでとう！ 谷川さん就労へ

就労継続支援B型から谷川さんが卒業されました。

昨年の10月に長崎魚市株式会社で1週間程の就職実習を行い、そこでの実習が評価され、11月1日付で同社に正式採用されました。

「セリ場」と呼ばれる、水揚げされた魚の競りが行われる場所の清掃が主な仕事です。

エリア21ではいつも穏やかで、癒し系キャラだった谷川さん。

就労先は屋外作業で、体力も必要な仕事ですが、未永く頑張っていて下さい。（古本）

エリアでの送別会で→



県手をつなぐ育成会 役員研修会

2月13日（金）みちのおホール

テーマⅠ「地域で暮らす」

講師：くららベーカリー 施設長 石倉 泰三氏

奥様の悦子さんとの結婚後、生まれた長女には障害が。落ち込んだものの、悦子さんに「あんたが暗い顔しとったら、子どもも笑顔になれへんで」と言われ、気持ちが切り替わったという石倉さん。

ある青年から「もうすぐ養護学校卒業やけど、行くところないねん」とつぶやかれたのをきっかけに、勤続十数年の会社を辞め、作業所を作ることに。「なんでかわからんけど、パン！って。焼いたこともないのに（笑）」近所のパン店で無理やり修行、市場内で5人の仲間（利用者さん）と開店にこぎつけ9か月、地域で良い交流が出来始めたのも束の間、阪神大震災が。

茫然自失で全半壊の店舗を片付け中、長距離を歩いて来た仲間の一人が「石倉さん、早よパン焼こうな〜」と一言。ハッとして、当時唯一焼けたバターパンを携えて炊き出しに参加したところ、大好評。涙ながらに「ありがとう」と焼きたてパンを受け取る人々から、「仲間は初めて“人の役に立つ、してあげられる喜び”をもらったんです」。これが「地域で暮らす」ことの原点になったそうです。



くららベーカリー

2006 年誕生の共同作業所を経て、NPO法人ネットワークながた運営のB型事業所。阪神大震災後、悦子さんの手紙をきっかけに、「男はつらいよ・寅次郎紅の花」（1995）では石倉夫妻・くららベーカリーがモデルに、長田地区がロケ地のひとつになった。

その後、映画「男はつらいよ」のロケ地やモデルになった縁から、山田洋次監督と交流。今では当然の携帯電話基本料の障害者割引も、仲間の声を聞いた監督が新聞コラムで訴えかけたのがきっかけだそうです！

その他にも「地域」を巻き込んだバザー「いちないち」の毎月開催、学校や企業との相互交流を積極的に展開されます。「僕も変わりました。昔は障がいのある子のことで少し負い目を感じてた。でも今は違う。いろんな人に「こんな子なんや」「一緒に生きていってくれへんか」と語っていいと思っています」と石倉さん。驚くべきバイタリティーで困難な状況を何度も切り開かれてきたはずですが、決して「僕が〇〇して」ではなく「Aさんが手伝ってくれて」「B君がこう言ってくれたから」と人と人とのつながりを大切に、「無私」で謙虚に生きておられる姿に、感動を覚えた講演でした。

テーマⅡ「障がい者サポーター制度を始めて」

講師：熊本市健康福祉子ども局 障がい保健福祉課 主任主事 山本 章之氏



UMUの取扱商品
（製き織のネクタイ）

この制度は、障がいに対して関心が薄くボランティア未経験層の市民をサポートに、という取り組みです。民間のイベント会社ご出身の山本さん、ご本人曰く「（役所体質でない所もあり）上司には嫌われています（笑）」とのことですが、その経験を活かし、「面白そう、行ってみよう」という“つかみ企画”と「基本の座学」「研修会」をセットにし、「実働できるサポーターを」誕生させるべく、年3回の講座を企画、出前講座も開催されています。（現サポーター登録者数880名）

最近では就労・生活支援センターで、福祉的就労支援事業としてサポーターが最も支援しやすい「作業製品の購入」ができるアンテナショップ“UMU”（うーむ）を作られました。ある製品は、UMUの支援でパッケージの見直しなどにより作業所での売上が約5倍増！今後は大量受注や時給（工賃）アップ、共同受注窓口としても機能できないか、など「障がいのある人のために」模索中だそうです。

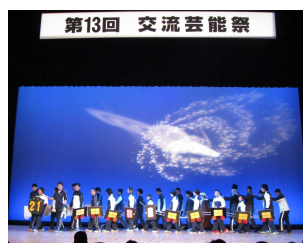
テーマⅢ「地域福祉を考える～障害者権利条約との関連から～」

講師：長崎国際大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授 高島 恭子氏

「条約」と聞くとそれだけで難しそう…と感じてしまいますが、高島先生の丁寧なお話を聞いていると、内容やその経緯を知っておくだけで、行政に対して物申したいと思った時に全然違う！ということがわかりました。政府が打ち出してくる障害福祉計画も、「障害者が地域で暮らせる社会に」を訴えているのです。今私たちが行政に望んでいることが、たとえ「絵に描いた餅」のような理想のイメージだったとしても、「声に出す・訴える」＝パブリックコメント（行政のホームページなどに投稿できる意見書）などにより仕組みを活かすためのアクションを起こして良いのですよ！という、意識を変えられるお話でした。

交流芸能祭

2月22日（日）とぎつカナリーホール



今回の交流芸能祭は、昔懐かしい『銀河鉄道999』のエリア21 バージョン『銀河鉄道21』というテーマで出演しました。

昨年12月からダンスにセリフ、列車作りや衣装準備に取りかかりました。特にダンスは全員そろって練習できる時間が少なかったのですが、今月に入ってから全員が集中して練習に取り組みました。本番では、利用者の皆さんが楽しく伸び伸びと踊る事が出来ていたと思います♪

一年に一度、ステージに立ちスポットライトを浴びて誰もが主人公になれる芸能祭、来年もぜひ楽しみにして下さい！！（梅津）



昨春大好評企画
が再び...!

予告!! 育成会バーベキュー大会

4月19日（日）さきの自然公園



↑ 昨年の様子・楽しそう〜♪

昨年の4月に開催し、みなさんからご好評をいただいたバーベキュー大会は、育成会とエリア21全体の交流・親睦が目的です。

ご家族もお誘い合わせの上ぜひご参加ください。

詳細は別途ご案内を差し上げる予定です。多くのみなさんのご参加、お待ちしております！



↑ 「ドヤ顔」で食べましょう